



## 10 JR 誉田地区

### ■地区の概要

位置づけ (立地適正化計画)	地域拠点	
面積（促進地区）	63.9ha	
旅客施設（3000人/日以上）乗降客数	JR 誉田駅	14,056人（平成30年度）
バス便数	誉田駅南口	86（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
	誉田駅北口	2（本/日）・片道（上下線平均）（2017年）
生活関連施設数	4施設	
生活関連経路延長	約1,900m	
500m圏人口	4,265人	※JR 誉田駅を中心に500m圏の範囲で算出 (2015年国勢調査4次(500m)メッシュ)
500m圏高齢者数	1,298人	
500m圏高齢化率	30%	
従前の基本構想から の主な変更点	誉田駅前郵便局、誉田市民センターを含むよう地区拡大	

※JRの乗降客数は乗車人員公表値を2倍した値 バス便数は千葉市立地適正化計画データより

### ■地区の特徴と課題

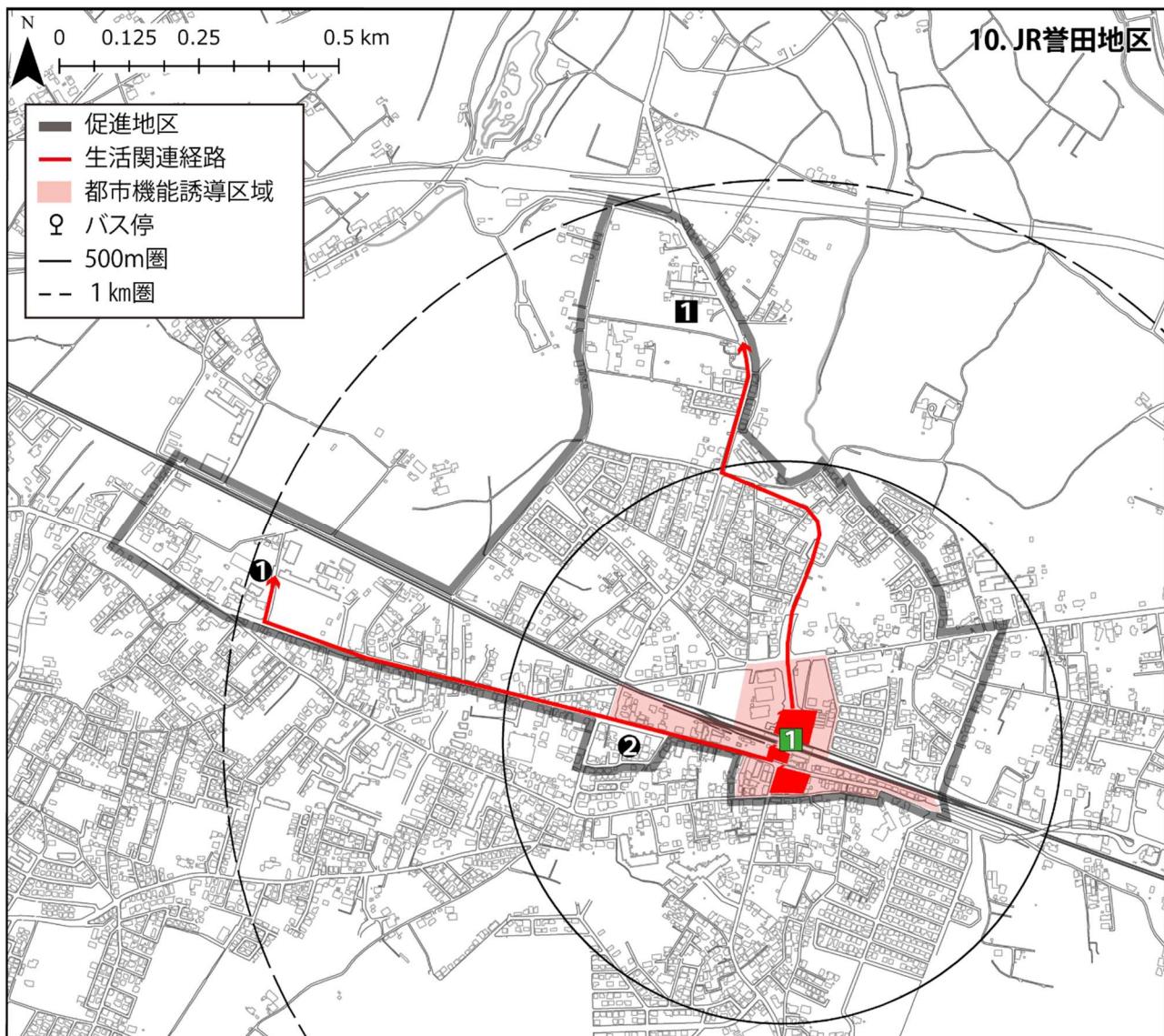
JR 誉田地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも少なく、高齢化率が比較的高い地区です。駅から500m程度の範囲内に郵便局、1km圏内に病院、市民センターが立地しています。駅周辺の主な土地利用は住宅となっており、駅周辺にコンパクトに都市機能誘導区域が設定されています。

JR 誉田駅の乗降客数は平均的です。バス便数は少なく、鎌取駅・蘇我駅方面、越智地域へアクセスしています。

駅及び北口の経路・施設は基本的にバリアフリー化されていますが、南口側では大網街道で狭い歩道が断続的に設置されている状況であり、バリアフリー化されていません。また、駅から大網街道を挟んで南口駅前広場については、バスと自動車が錯綜している現状があり、予定されている整備事業において道路横断時の安全性の確保が求められます。

### ■バリアフリー方針

- 駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。
- 関連するまちづくり事業等に合わせた連続的・一体的なバリアフリー化を図ります。



種別	番号	施設名称
旅客施設	1	JR 誉田駅
公共施設	1	誉田市民センター
	2	誉田駅前郵便局
保健施設 ・病院	1	千葉南病院



JR 誉田駅



大網街道 (JR 誉田駅南口)